



第 1240 回例会報告

平成 23 年 9 月 22 日(木) 晴

会長挨拶

会長 三村昌暉

ボーイスカウト・ガールスカウトへの 助成金贈呈式例会

本日は、ボーイスカウト・ガールスカウトへの助成金贈呈式例会です。それぞれの団長さんにお出でいただいております。後ほど卓話をお願いいたしますので宜しくお願い致します。

又、ロータリーアクトの会長・幹事さん、諏訪ロータリー・クラブから新世代・ロータリーアクト地区委員長の玉本広人君と新世代ロータリーアクト委員長の笠原宏文君もご出席されております。ロータリーアクトから、PRタイムの希望がありますので、会長挨拶は終了し、早速ロータリーアクトの皆さんにお願いしたいと思います。

◇幹事報告◇

【報告事項】

- ①最近は、災害援助の支援金等に関わる、社会奉仕・国際奉仕委員会への情報がたくさん送られてきます。
- ②10月のローターレートは1ドル78円です。

【連絡事項】

- ①米山奨学会事務局から普通寄付金にも申告用領収書を発行することですので、関係される会員は申し出て下さい。

【受領文書】

- ①ウィークリー=諏訪 RC

諏訪ロータリーアクトPRタイム

例会に先立ち諏訪ロータリーアクトクラブの小口正一会長から、諏訪ロータリーアクトクラブの現状とPRがありました。



特に会員数の減少について危機的状況であることを強く訴えられ、会員の推薦、入会の協力を依頼されました。RCと同じ理念のもとに発足しているクラブです。ぜひ協力しましょう。



「ロータリーアクトPRチームの皆さん」左から 第2600地区ロータリーアクト幹事小池宏明君、諏訪ロータリーアクトクラブ会長小口正一君、諏訪RC玉本広人君、笠原博史君

■ニコニコBOX

26名	31,000円
累計	322,000円
目標額	130万円
達成率	24.0%

■出席報告

会員数	33名
出席対象	33名
出席者数	26名
出席率	78.7%
前回修正	84.8%

■今週のことば

脱原発、新エネルギーについて考える映画「蜂蜜の羽音と地球の回転」
10月1日上映の入場券を販売しています。
1000円です。 長崎政直

■ 次回のプログラム

10月6日
ガバナー公式訪問例会

9月は新世代の為の強調月間
**各ロータリアンは
青少年の模範**



2011-2012年度 国際ロータリーテーマ
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
Reach within to Embrace Humanity

第 1240 回例会

ガボーイスカウト・ガールスカウトへの
助成金贈呈式例会

新世代活動委員会

新世代のための強調月間に従い新世代活動委員会の高林委員長と委員会の皆さんの設営によりガボーイスカウト・ガールスカウトへの助成金贈呈式例会が行われ、引き続き各団体の事業報告が行われました。



助成金を贈呈する三村会長とボーイスカウト木下昭男団委員長とガールスカウト小池敬子団委員長

ボーイスカウト事業報告

報告は、活動一覧表、新聞記事スクラップ、活動状況を示す写真などが記載された中間報告書をもとに説明をいただきました。

少ない人数ながら、月次の運営団委員会、スカウト活動、外部団体との協同活動など一生懸命活動されている様子が伝わってきました。

団員の確保がやはり一番の問題のようです。今後のますますのご活躍をお祈りいたします

ガールスカウト事業報告

報告は、事業計画書、ガールスカウトNAGANO86号と、スライドによって行われました。

現在登録員数はガールスカウト団員 29 名、リーダー・運営委員 17 名合計 46 名の大所帯にて運営されています。ただし個々の活動は年齢に応じたクラスごとに行っているため活動単位は小さく、密度高く運営できているようです。

本年度の入団者数も 5 名いたとのことで、嬉しい限り

です。今後のますますのご活躍をお祈りいたします。



「ガバナー補佐事前訪問例会」要約報告

・RCは、家族、友人、地域、日本、世界に働きかけることのできる素晴らしい団体です。RCが活動すれば地域も良くなります

・本年度RI会長は「心の中を見つめよう、博愛を広げるために」をテーマとしており、家族、継続、変化を強調していますが、特に家族を大切にして地域に認められるよう発信することを求めています

・2600 地区の都築ガバナーは、若くて行動力のある素晴らしい方ですが「博愛はこころの中に、あなたがロータリーです」というテーマを掲げて邁進しています。特に20代30代の会員増強の機会を作るように、また家族例会の充実を図るように強調されていますことをお伝えいたします。

・現在の日本の状況は、地震、原発、津波の三重苦の中にあるわけですが、都築ガバナー自身が岩手のご出身で、現地をつぶさに見てこられ、ガバナー訪問の際その悲惨な状況を詳しくお話いただけると思います。

この大震災支援に関するRCのあり方がファイブフォーワンプログラムもそうですが、大きく変更されてきています。一旦9億近く集まった義捐金が地区に返され、いまだに活動のめどさえ立たないRCがあるなど岩手、宮城、福島は今一番困っているロータリーに地区単位で直接支援するという方式に変わってきています。

引き続き義捐金の拠出を求めますが、よろしくご協力をお願いいたします。

・最後にポールハリスは、RCをつくった理由を「寂しかったから」と言っていますが、現在の日本ほど友を求めている時代はありません。私自身RCに入ってきた友のおかげ、大変うれしい思いをしています。RCの友を大切に誹訪の7クラブと一緒に発展すれば、家族も、この地域も一緒に発展いたします。1年間よろしく願いいたします。

先週紙面の都合で前半のみを記載しましたので、ガバナー補佐事前訪問の続きを記載させていただきます

(文責 河西)